

登録コード	AS503500	開講年度	2026			
授業科目	山岳フィールド実習A				担当教員	宮本 裕美子
英文授業名	Mountain Fieldwork A				副担当	安江 恒・渡邊 修
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	実習	備考	1、2年次生
信大コンピテンシー	非該当					
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ					
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				⇔	多様な山岳、自然環境においてフィールド調査の概念や方法を身に付けることができる。
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	多様な山岳、自然環境においてフィールド調査の概念や方法を学び、発信することができる。
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	多様な山岳、自然環境においてフィールド調査の概念や方法を学び、研究能力を向上することができる。
授業の概要	各フィールドステーションや農学部構内において実習を行う。					
Contents:	山岳域の地形、地質、生物、種同定や、天然林、人工林の成り立ちから造成、利用、林業施業方法、諏訪湖の水環境、木材の加工技術屋組織構造などを学ぶ。					
授業計画	以下の実習から選択のこと。担当教員、実施場所、内容の詳細については別途通知します。 No.1 地質調査 (0.5単位) No.2 臨湖実習A-1 (0.5単位) No.3 臨湖実習A-2 (0.5単位) No.4 臨湖実習B (1単位) No.5 山岳地形・生物地理実習 (1単位) No.6 森林生産実践アドバンス実習A (0.5単位) No.7 森林生産実践アドバンス実習B (0.5単位) No.8 高冷地域先端農業特別演習 (1単位) No.9 森林利用デザインアドバンス演習 (1単位) No.10 木材工学アドバンス演習 (1単位) No.11 自然の成り立ちと山の生業アドバンス演習 (1単位) No.12 山岳環境保全学アドバンス演習 (1単位) No.13 農林フィールドアドバンス実習 (1単位) No.14 堆積環境学実習 (0.5単位)					
成績評価の方法	各実習においてレポート課題と実習態度を総合的に評価します。90点以上を「秀」、89～80点を「優」、79～70点を「良」、69～60点を「可」、59点以下を「不可」と評価します。					
成績評価の基準	各担当教員の基準にしたがう。					
事前事後学習の内容	各担当教員の指示にしたがう。					
履修上の注意	受講者は、総単位が1単位以上になるように実習を選択すること。受け入れ人数制限があるため、希望を考慮した上で4月下旬に受講実習の決定通知を出します。 実習により、実習費、宿泊費、食費などの費用がかかります。 山岳科学教育プログラム履修生のみ履修が可能な科目です。					
質問,相談への対応	履修についての質問、相談は宮本 (miyamoto_y@shinshu-u.ac.jp) まで。各実習の内容については、各担当教員までメールして下さい（メールアドレスは、別紙資料を参照のこと）。					
学生へのメッセージ	自分の専門分野以外の調査方法を知るととてもいい機会です。積極的に実習へ参加してください。					
【教科書】	特になし。各実習において指示する。					
【参考書】	特になし。各実習において指示する。					